



北区の部屋だより

2026年1月 第197号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 電03-5993-1125 令和8年1月発行



桐ヶ丘小学校に空いた 穴の正体とは！？



突然小学校の校庭に大きな穴があいたら……
現代に生きる私たちからしてみれば、安全が保障
されているはずの学校の校庭に、数人の大人が落
ちてもおかしくないような穴があくということは
想像できませんし、想像したくもありませんよね。
しかし、今からおよそ70年前のある日のこと、
実際に桐ヶ丘小学校の校庭に大きな穴があく事件
が起こりました。では、そのいきさつを追ってみ
ましょう。

1954年(昭和29)6月23日の朝、桐ヶ丘小
学校の校庭に小さな穴が開いていることを同校教員が
発見しました。不思議に思って穴を見ていると、数分も
たたないうちに周りの土が崩れていき、ついには直径10m、

深さ3mほどの大きな穴になりました。穴を発見した教員と学校関係者で穴の周囲に縄を張る処置
をしたため、登校中だった子どもたちも穴の崩落に巻き込まれることなく、幸いにもけが人は出ま
せんでした。

一連の出来事は、新聞やラジオなどで取り上げられ大問題となりました。区の土木課が穴の調査
を行ったところ、校庭の真下に掘られた防空壕^{ぼうくうごう}が原因であったことが判明しました。終戦まで桐ヶ
丘小学校一帯は陸軍の敷地であり、火薬庫として使用されていました。そのため、空襲^{くうしう}などの緊急
時には火薬庫で作業している兵員が避難できるように、敷地内に防空壕を掘っていたと考えられま
す。さらに、桐ヶ丘小学校の校庭には陸軍が使用していた白いマンホールとそれに繋がる下水管が
そのまま残していました。それが梅雨の時期であったことから地面がぬかるみ、マンホールが
沈下したことによって、地下の下水管に亀裂^{きりつ}が入り下水があふれ出しました。つまり、下水が防空
壕の穴に浸水^{しんすい}して地盤がゆるんだことで、穴があくに至ったのです。(「朝日新聞」同年6月26日
付)マンホールを起点にして250m程の長さの防空壕が2つあり、その2つの防空壕を繋ぐように
してもう1つの防空壕があったようです。

陥没事故^{かんぼつ}から約1か月後、都の教育庁から出された工事費用を使い、防空壕の穴に土を埋め込む
工事が始まりました(「読売新聞」同年7月31日付)こうして、桐ヶ丘小学校の子どもたちは安心
して校庭を使えるようになったのでした。



【桐ヶ丘小学校の校庭にできた大穴】
『桐ヶ丘小学校創立40周年記念誌』

【地域資料専門員 佐久間 乙葉】

北区の部屋
今月の展示

見えない水路を辿る
～北区の暗渠～



■展示期間 1月6日（火）～2月25日（水）

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

今回は歴史講演会「見えない水路を辿る～北区の暗渠～」（令和7年12月20日令和8年2月21日開催）の関連展示です。講師の暗渠マニアックス（高山英男氏・吉村生氏）による、「暗渠って何だろう？」という初心者の方向けの展示です。長めの展示期間となっていますので、ゆっくりお楽しみいただけます。ぜひ、ご覧ください。※講座の申し込みは終了しています。



開催しました！！

歴史講演会
『見えない水路を辿る～北区の暗渠～』
第1回目 入門編

企画・運営：北区図書館活動区民の会

去る12月20日に中央図書館にて、「暗渠マニアックス」高山英男氏・吉村生氏のお二人による講演会を開催しました。

2回連続講座第1回目の今回は「入門編」として、高山氏からは北区の暗渠についてやその愉しみ方についてのお話がありました。高山氏は参加者の話を聞くなどしながら、話をすすめていきました。吉村氏は北区にある、「根村用水」や「小柳川」「谷田川」などの新旧の写真を対比しながら、「深堀りの巻」としてお話されました。

参加者からは、「普段、見慣れた場所が出てきて、楽しかった。」「次回も楽しみです。」「街歩きをしてみようと思います。」など多数の感想が寄せられました。様々なメディアでご活躍中のお二人とあってか定員の3倍近いお申し込みがあり、追加で補助席を設けての開催となりました。

第1回目の資料を北区の部屋の展示コーナーに、ご用意します。ご興味のある方はぜひ、お手に取って下さい。※なくなり次第、終了となります。



小柳橋 昭和29年(1954)2月 手川文夫氏撮影

講師の著作の紹介



『暗渠マニアック！』 吉村生ほか著/柏書房

書誌番号：B11415894

『暗渠マニアック！』(ちくま文庫) 吉村生ほか著/筑摩書房

書誌番号：B13387774

『暗渠パラダイス！』 高山英男ほか著/朝日新聞出版

書誌番号：B11838337

『まち歩きが楽しくなる水路上観察入門』

吉村生ほか著/KADOKAWA

書誌番号：B11931223

『「暗橋」で楽しむ東京さんぽ』

高山英男ほか著/実業之日本社

書誌番号：B13255232

※上記の本はすべて図書館で借りられます。ぜひ、ご覧ください。